

目的 疾病時の家計に対する生活保障としては、社会保障制度のなかの医療保険などによる公的保障と、民間保険などによる私的保障とがある。公的保障と私的保障の実態に関して、欧米諸国と比較したうえで、わが国の現状について分析・考察することを目的とする。

方法 欧米諸国とわが国の疾病時における家計への生活保障について、統計資料を分析することにより、比較検討した。さらに、わが国の実態に関して、データの解析を行って詳細に検討した。資料は、欧米諸国の実態に関しては、OECD（経済協力開発機構）公表の加盟国の医療統計資料および各国政府発行の医療統計資料を用いた。わが国の実態については、厚生省「国民医療費」、総務庁「家計調査」、国税庁「民間給与の実態」などを用いた。

結果 社会保障制度における医療保障の内容は、国によって大きな差異がある。したがって、疾病時の公的保障と私的保障の実態に関しても顕著な違いがみられた。このことから、国による特色が顕在化し、わが国の問題点も明らかになった。また、わが国のデータの詳細な解析の結果、一・二興味ある知見が得られたので報告する。